



国土交通省

富山河川国道事務所

記者発表資料

平成31年3月18日
配布：県政記者クラブ
扱い：配布後解禁

常願寺川水系、神通川水系洪水浸水想定区域図 (浸水継続時間)の修正・公表について 【お知らせ】

平成31年1月29日にお知らせしました、常願寺川水系および神通川水系における公表済みの洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)に表示の誤りがあった件について、このたび再計算を実施し、修正版を本日公表しましたのでお知らせします。

■修正過程で、着色の誤り(着色のレベルと計算結果が異なっていた)があったため、合わせて修正しました※

着色の誤りの是正により、修正前に比べて、浸水継続時間が短く表示される場合があります。(修正前後の比較は別紙1、図1～6をご参照ください。)

■庄川水系、小矢部川水系の洪水浸水想定区域図については、点検の結果、誤りはありませんでした。

■今後、関係機関と十分調整を行い、広く周知を図ります。

常願寺川水系、神通川水系、庄川水系、小矢部川水系(国管理区間)の洪水浸水想定区域図については、こちらに掲載しています。

URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/index.html>

お問い合わせ先

国土交通省 富山河川国道事務所

副所長(河川) 渡邊 一成 調査第一課長 澤原 和哉
Tel 076-443-4701(代表) 平日昼間 Tel 076-443-4715(直通) 平日昼間



国土交通省 北陸地方整備局
〒930-8537 富山市奥田新町2番1号
https://twitter.com/mlit_toyama

富山河川国道事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

※「浸水想定区域図(浸水継続時間)の着色の誤り」について

浸水想定区域図の凡例での浸水継続時間の区分けに対し、実際の表示されていた区分けは、浸水継続時間の凡例より短い時間のものとなっていました。

例えば、浸水継続時間が12時間の場合は、正しくは青色で着色すべきところを黄色で着色していました。

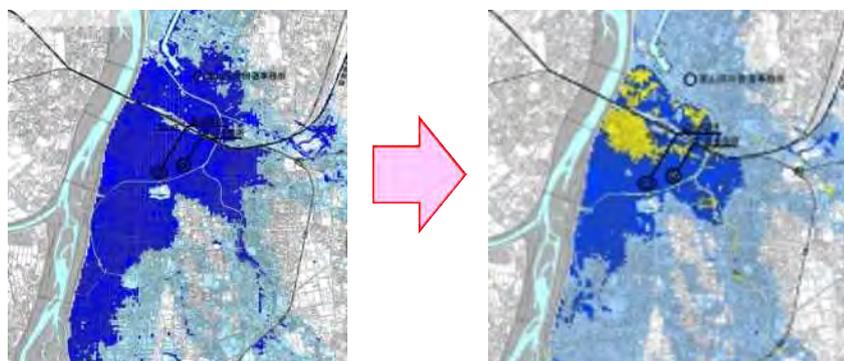
| 正 | | 誤(これまで表示されていた区分け) | |
|------|-----------|-------------------|------------|
| 着色 | 浸水継続時間 | | 浸水継続時間 |
| 浅青 | 12時間未満 | → | 6時間未満 |
| 青色 | 12時間～1日未満 | → | 6時間～12時間未満 |
| 黄色 | 1日～3日未満 | → | 12時間～1日未満 |
| オレンジ | 3日～1週間未満 | → | 1日～2日未満 |
| 赤 | 1週間～2週間未満 | → | 2日～3日未満 |
| 紫 | 2週間～4週間未満 | → | 3日～1週間未満 |

○修正前後の比較

①浸水継続時間が長くなる場合

排水条件等を正しく反映した結果、浸水継続時間が長くなりました。

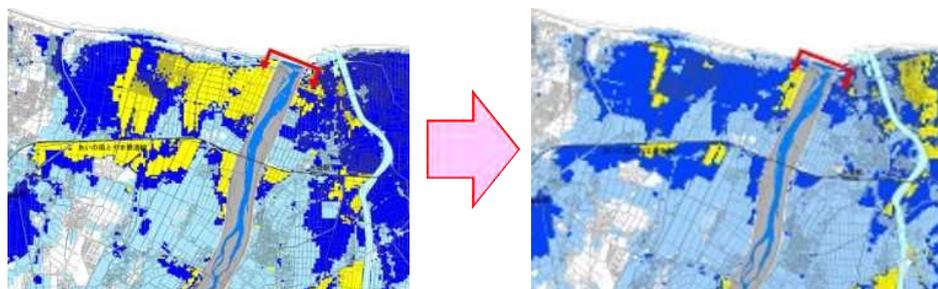
(青色(12時間～1日未満)から黄色(1日～3日未満))



②浸水継続時間が短くなる場合

着色の誤りの修正により、浸水継続時間が短くなりました。

(黄色(1日～3日未満)から青色(12時間～1日未満))



常願寺川水系常願寺川洪水浸水想定区域図
(浸水継続時間)

常願寺川水系常願寺川洪水浸水想定区域図
(浸水継続時間)

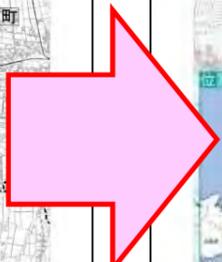
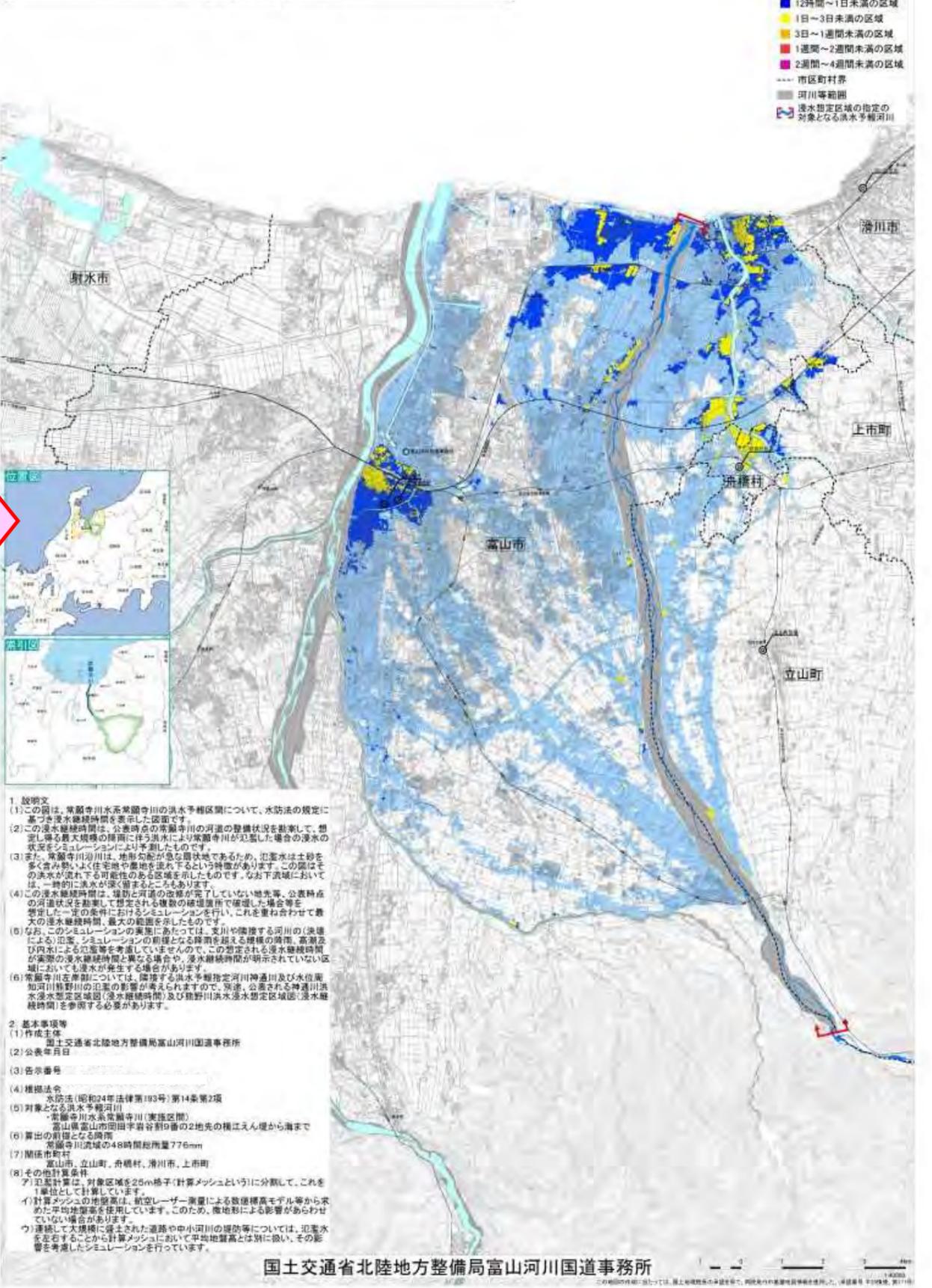
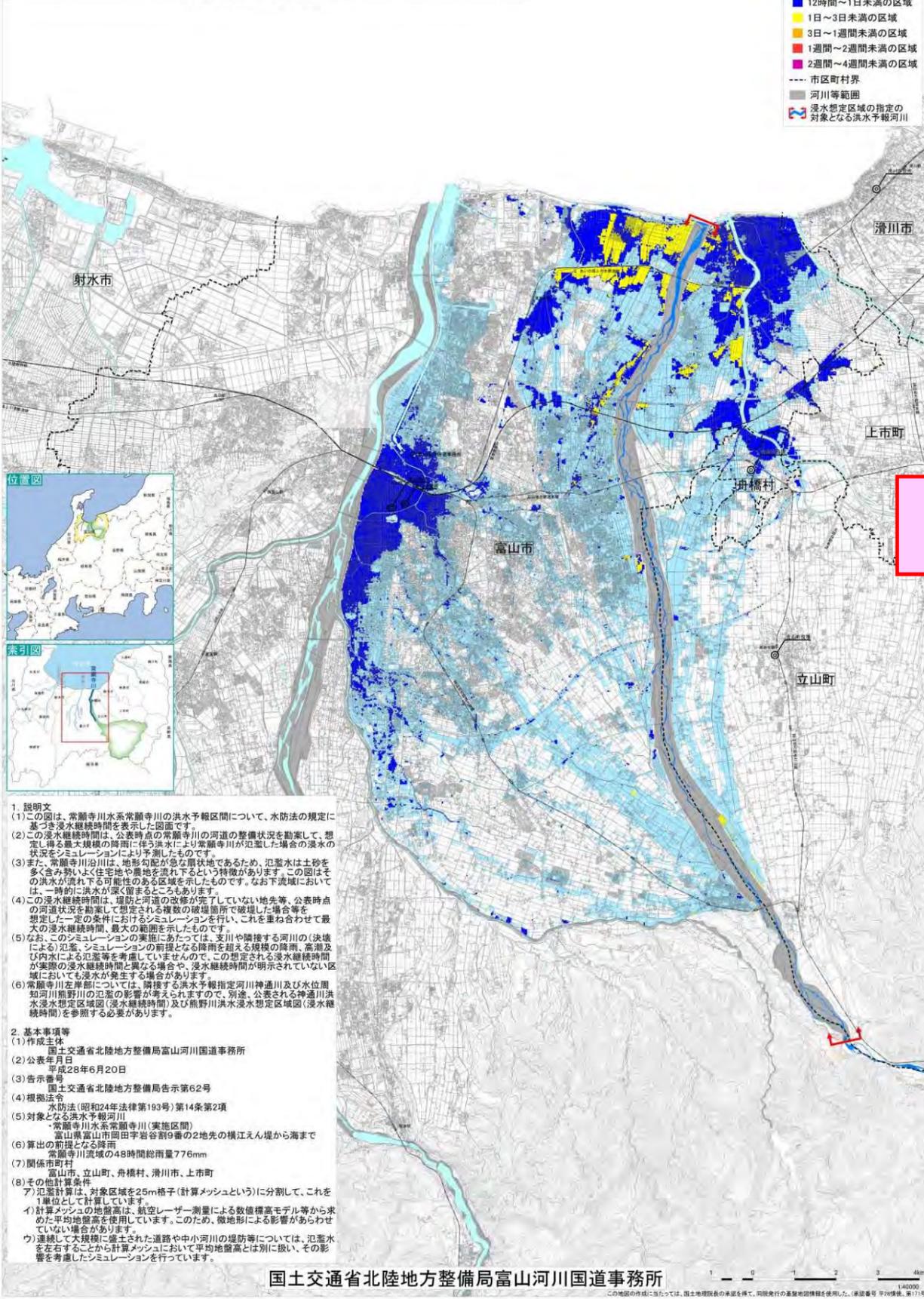
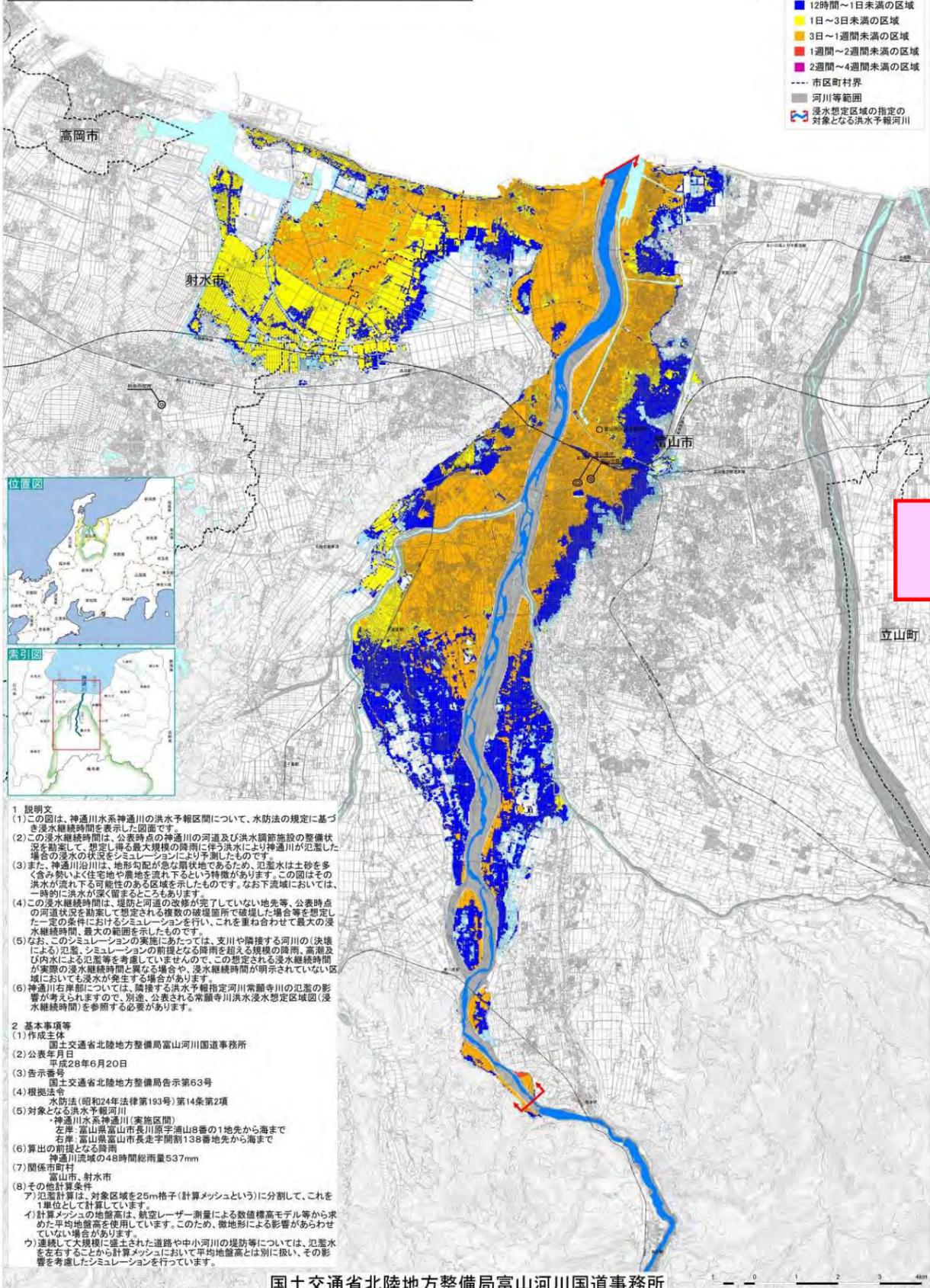


図-1 浸水継続時間図の修正前後比較図【常願寺川】

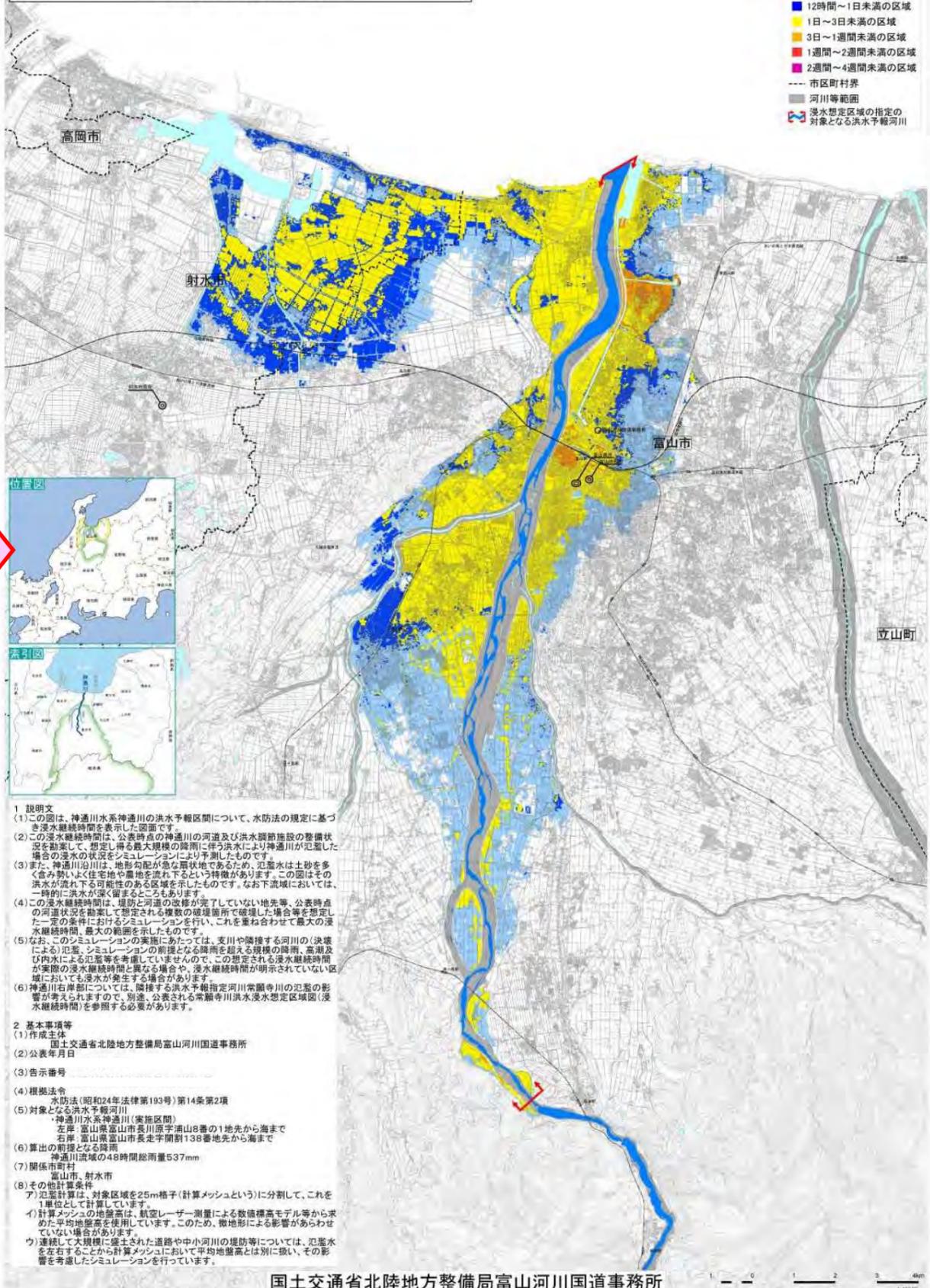
神通川水系神通川洪水浸水想定区域図
(浸水継続時間)



1 説明文
 (1)この図は、神通川水系神通川の洪水予報区域について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2)この浸水継続時間は、公表時点の神通川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により神通川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)また、神通川は川床、地形勾配が急な河床地帯であるため、氾濫水は土砂を多く含む勢いよく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が深く留まる場合もあります。
 (4)この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所を破壊した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
 (5)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
 (6)神通川右岸部については、隣接する洪水予報指定河川常盤寺川の氾濫の影響が考えられますので、別途、公表される常盤寺川洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）を参照する必要があります。

2 基本事項等
 (1)作成主体
 国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
 (2)公表年月日
 平成28年6月20日
 (3)告示番号
 国土交通省北陸地方整備局告示第63号
 (4)根拠法令
 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 (5)対象となる洪水予報河川
 ・神通川水系神通川（実施区域）
 左岸：富山県富山市長川原字浦山8番の1地先から海まで
 右岸：富山県富山市長走字開割138番地先から海まで
 (6)算出の前提となる降雨
 神通川流域の48時間総雨量537mm
 (7)関係市町村
 富山市、射水市
 (8)その他計算条件
 ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。
 イ) 計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
 ウ) 連続して大規模に発生した道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

神通川水系神通川洪水浸水想定区域図
(浸水継続時間)



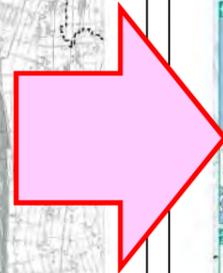
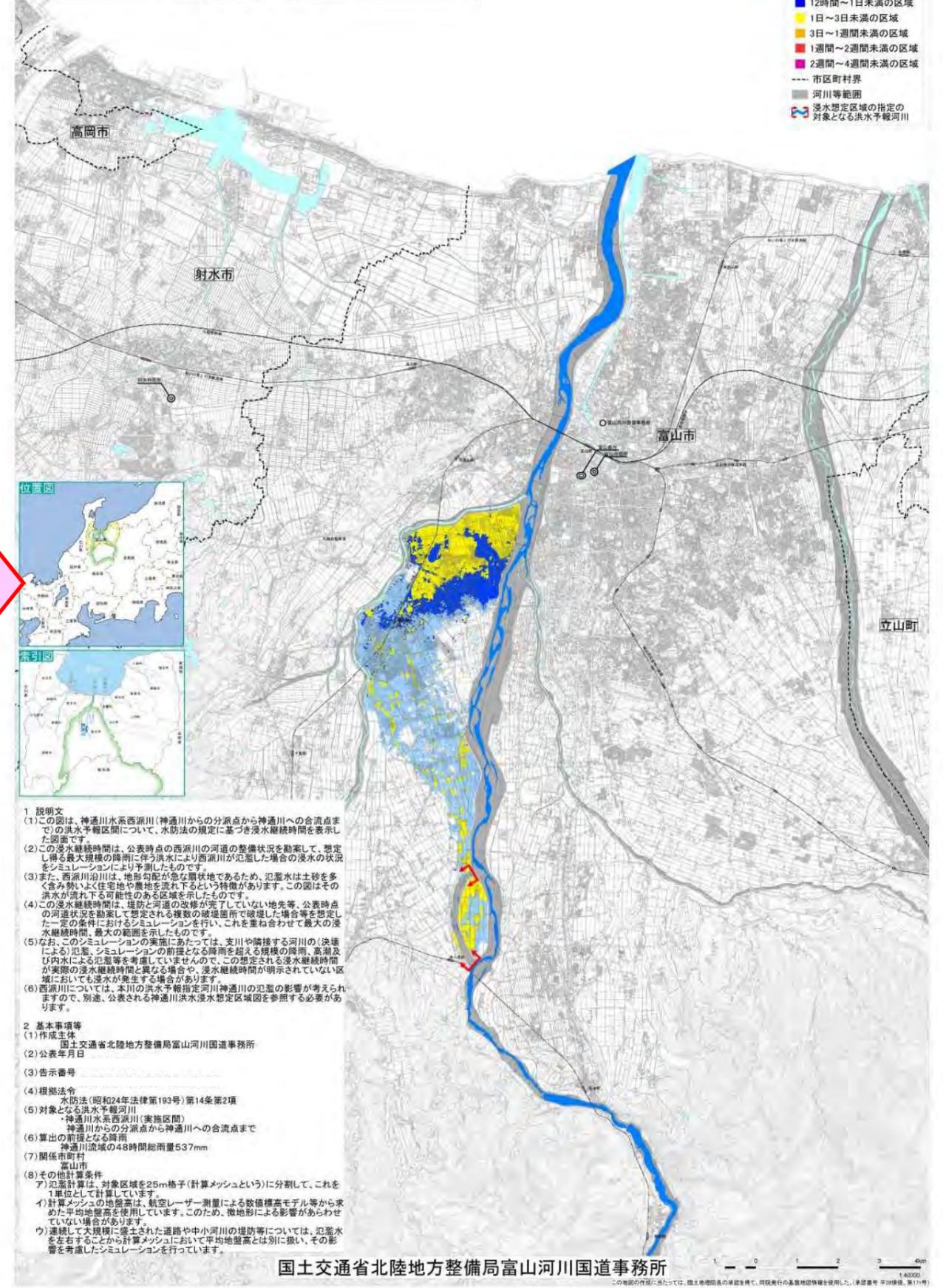
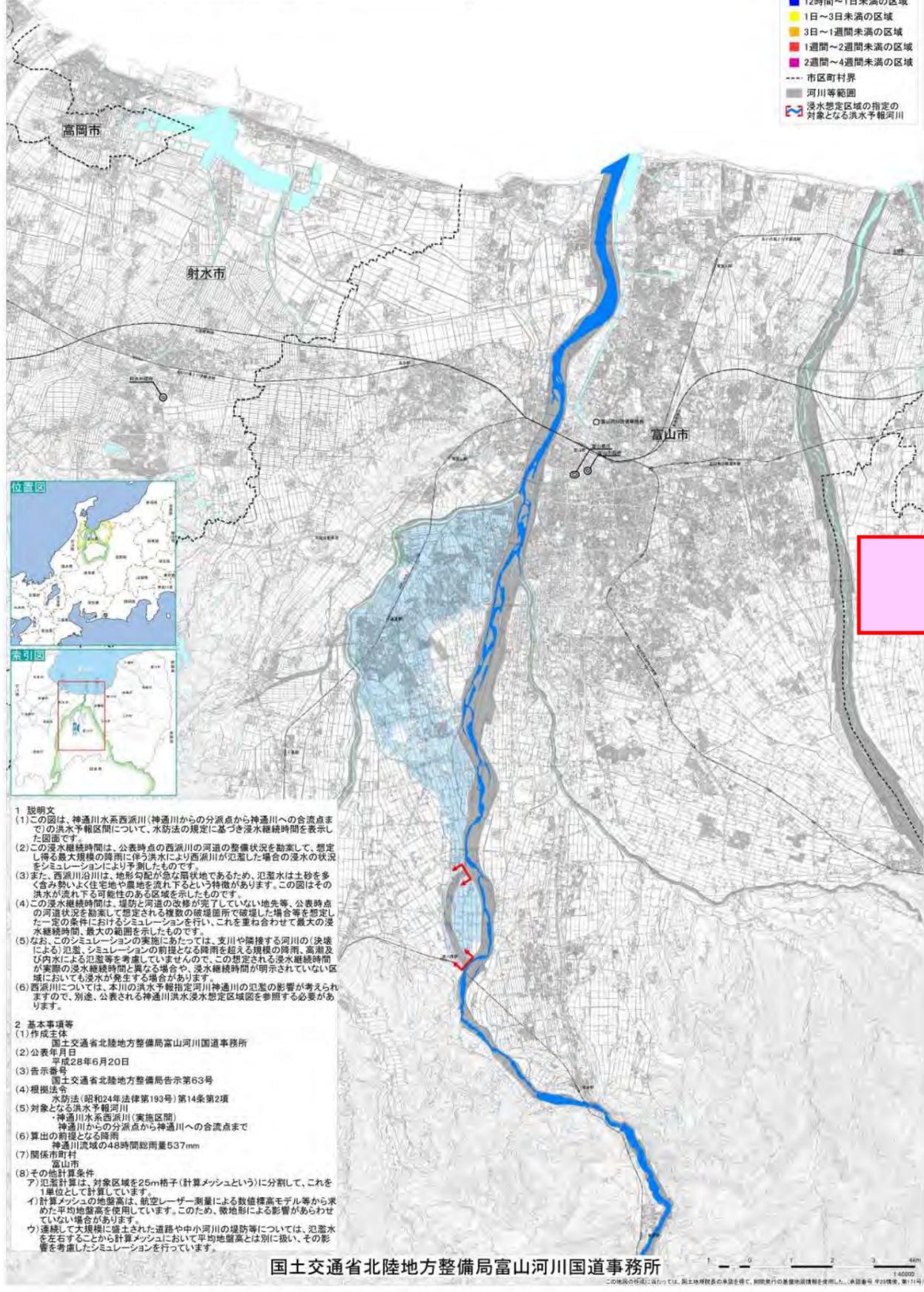
1 説明文
 (1)この図は、神通川水系神通川の洪水予報区域について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2)この浸水継続時間は、公表時点の神通川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により神通川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)また、神通川は川床、地形勾配が急な河床地帯であるため、氾濫水は土砂を多く含む勢いよく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が深く留まる場合もあります。
 (4)この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所を破壊した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
 (5)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
 (6)神通川右岸部については、隣接する洪水予報指定河川常盤寺川の氾濫の影響が考えられますので、別途、公表される常盤寺川洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）を参照する必要があります。

2 基本事項等
 (1)作成主体
 国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
 (2)公表年月日
 平成28年6月20日
 (3)告示番号
 国土交通省北陸地方整備局告示第63号
 (4)根拠法令
 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 (5)対象となる洪水予報河川
 ・神通川水系神通川（実施区域）
 左岸：富山県富山市長川原字浦山8番の1地先から海まで
 右岸：富山県富山市長走字開割138番地先から海まで
 (6)算出の前提となる降雨
 神通川流域の48時間総雨量537mm
 (7)関係市町村
 富山市、射水市
 (8)その他計算条件
 ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。
 イ) 計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
 ウ) 連続して大規模に発生した道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

図-2 浸水継続時間図の修正前後比較図【神通川】

神通川水系西派川洪水浸水想定区域図
(浸水継続時間)

神通川水系西派川洪水浸水想定区域図
(浸水継続時間)



1 説明文
 (1)この図は、神通川水系西派川(神通川からの分派点から神通川への合流点まで)の洪水予報区域について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2)この浸水継続時間は、公表時点の西派川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により西派川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)また、西派川沿川は、地形勾配が急な扇状地であるため、氾濫水は土砂を多く含む勢いよく住宅地や農地を流れ下るといふ特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。
 (4)この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
 (5)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川(決壊による)氾濫、シミュレーションの前報となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
 (6)西派川については、本川の洪水予報指定河川神通川の氾濫の影響が考えられますので、別途、公表される神通川洪水浸水想定区域図を参照する必要があります。

2 基本事項等
 (1)作成主体
国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
 (2)公表年月日
平成28年6月20日
 (3)告示番号
国土交通省北陸地方整備局告示第63号
 (4)根拠法令
水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 (5)対象となる洪水予報河川
神通川水系西派川(実施区域)
神通川からの分派点から神通川への合流点まで
 (6)算出の前報となる降雨
神通川流域の48時間総雨量537mm
 (7)関係市町村
富山市
 (8)その他計算条件
ア)氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。
イ)計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
ウ)連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

1 説明文
 (1)この図は、神通川水系西派川(神通川からの分派点から神通川への合流点まで)の洪水予報区域について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2)この浸水継続時間は、公表時点の西派川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により西派川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)また、西派川沿川は、地形勾配が急な扇状地であるため、氾濫水は土砂を多く含む勢いよく住宅地や農地を流れ下るといふ特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。
 (4)この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
 (5)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川(決壊による)氾濫、シミュレーションの前報となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
 (6)西派川については、本川の洪水予報指定河川神通川の氾濫の影響が考えられますので、別途、公表される神通川洪水浸水想定区域図を参照する必要があります。

2 基本事項等
 (1)作成主体
国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
 (2)公表年月日
平成28年6月20日
 (3)告示番号
国土交通省北陸地方整備局告示第63号
 (4)根拠法令
水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 (5)対象となる洪水予報河川
神通川水系西派川(実施区域)
神通川からの分派点から神通川への合流点まで
 (6)算出の前報となる降雨
神通川流域の48時間総雨量537mm
 (7)関係市町村
富山市
 (8)その他計算条件
ア)氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。
イ)計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
ウ)連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所

国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所

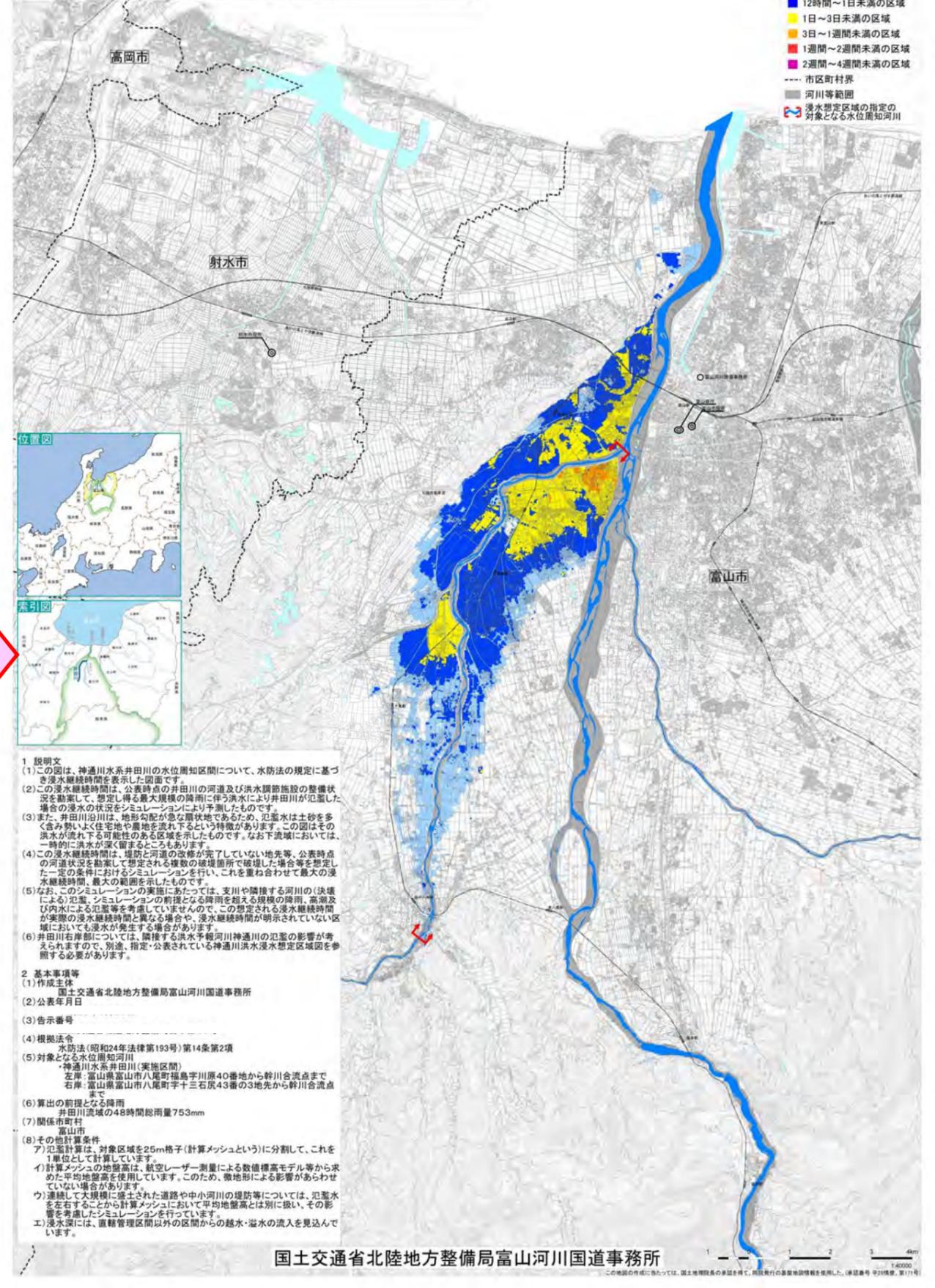
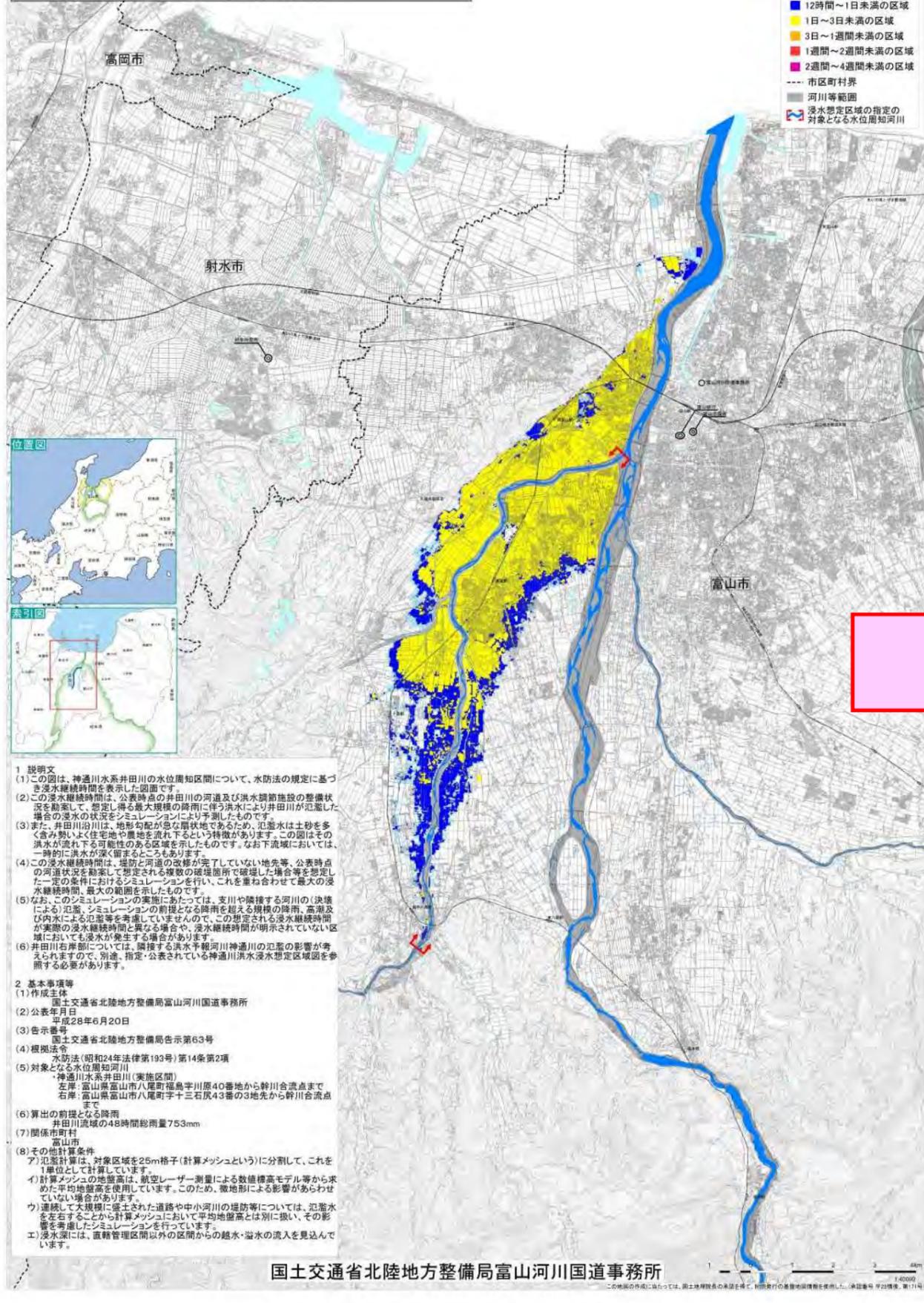
図-3 浸水継続時間図の修正前後比較図【西派川】

修正前（既公表）浸水継続時間図

修正後（今回公表）浸水継続時間図

神通川水系井田川洪水浸水想定区域図
(浸水継続時間)

神通川水系井田川洪水浸水想定区域図
(浸水継続時間)



1 説明文
 (1)この図は、神通川水系井田川の水位周知区域について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2)この浸水継続時間は、公表時点の井田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定される最大規模の降雨に伴う洪水により井田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)また、井田川沿川は、地形勾配が急な扇状地であるため、氾濫水は土砂を多く含む勢いよく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が深く留まることもあります。
 (4)この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所が破壊した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
 (5)なお、このシミュレーションの実態にあたっては、支川や隣接する河川（決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
 (6)井田川右岸部については、隣接する洪水平野河川神通川の氾濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表されている神通川洪水浸水想定区域図を参照する必要があります。

2 基本事項等
 (1)作成主体
 国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
 (2)公表年月日
 平成28年6月20日
 (3)告示番号
 国土交通省北陸地方整備局告示第63号
 (4)根拠法令
 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 (5)対象となる水位周知河川
 ・神通川水系井田川（実施区域）
 左岸：富山県富山市八尾町福島宇川原40番地から幹川合流点まで
 右岸：富山県富山市八尾町宇十三石庚43番の3地先から幹川合流点まで
 (6)算出の前提となる降雨
 井田川流域の48時間総雨量753mm
 (7)関係市町村
 富山市
 (8)その他計算条件
 ア)氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。
 イ)計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
 ウ)連続して大規模に発生した道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
 エ)浸水深には、直轄管理区域以外の区域からの越水・溢水の流入を見込んでいます。

1 説明文
 (1)この図は、神通川水系井田川の水位周知区域について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2)この浸水継続時間は、公表時点の井田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定される最大規模の降雨に伴う洪水により井田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)また、井田川沿川は、地形勾配が急な扇状地であるため、氾濫水は土砂を多く含む勢いよく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が深く留まることもあります。
 (4)この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所が破壊した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
 (5)なお、このシミュレーションの実態にあたっては、支川や隣接する河川（決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
 (6)井田川右岸部については、隣接する洪水平野河川神通川の氾濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表されている神通川洪水浸水想定区域図を参照する必要があります。

2 基本事項等
 (1)作成主体
 国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
 (2)公表年月日

 (3)告示番号

 (4)根拠法令
 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 (5)対象となる水位周知河川
 ・神通川水系井田川（実施区域）
 左岸：富山県富山市八尾町福島宇川原40番地から幹川合流点まで
 右岸：富山県富山市八尾町宇十三石庚43番の3地先から幹川合流点まで
 (6)算出の前提となる降雨
 井田川流域の48時間総雨量753mm
 (7)関係市町村
 富山市
 (8)その他計算条件
 ア)氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。
 イ)計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
 ウ)連続して大規模に発生した道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
 エ)浸水深には、直轄管理区域以外の区域からの越水・溢水の流入を見込んでいます。

国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所

国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所

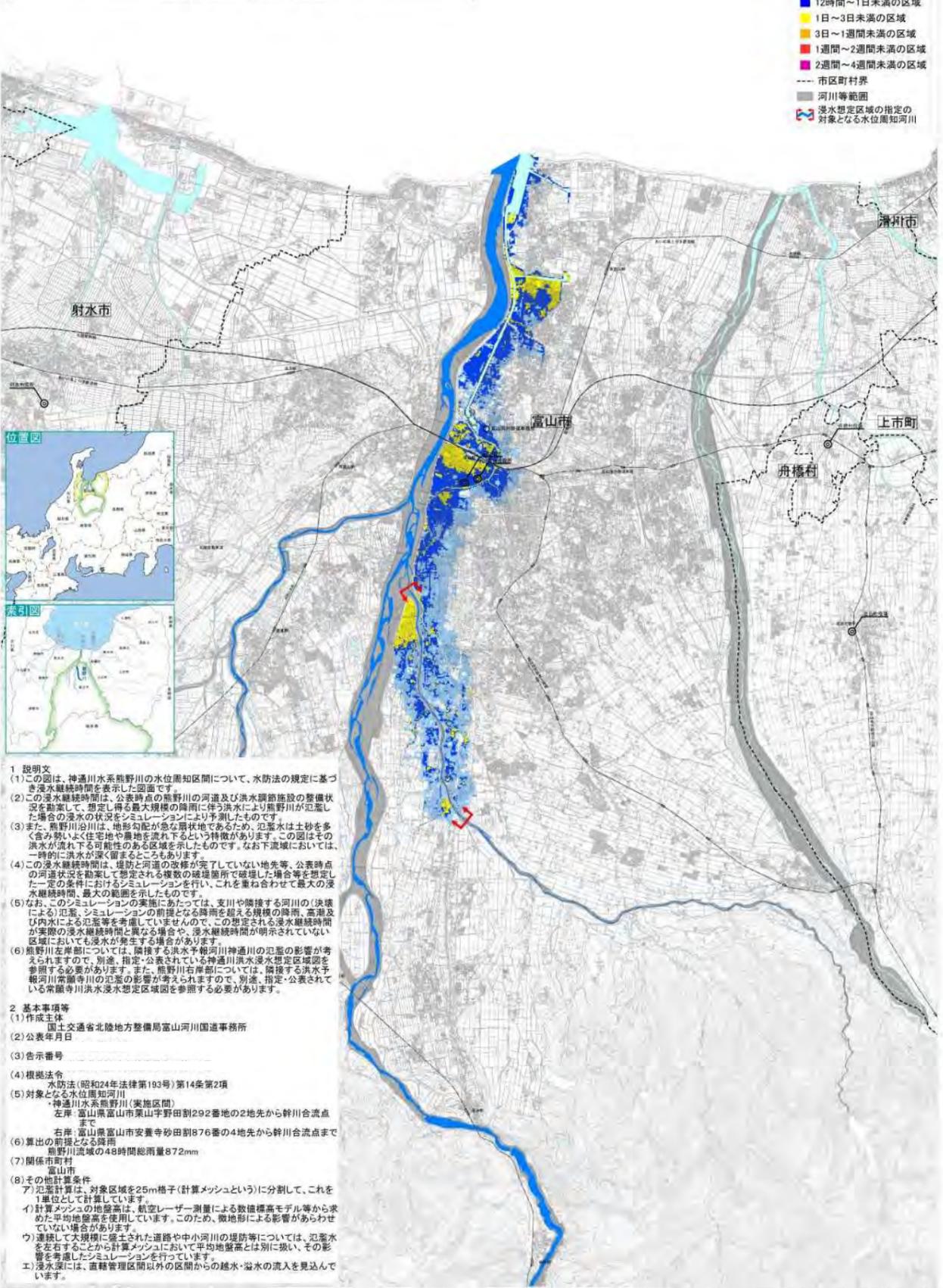
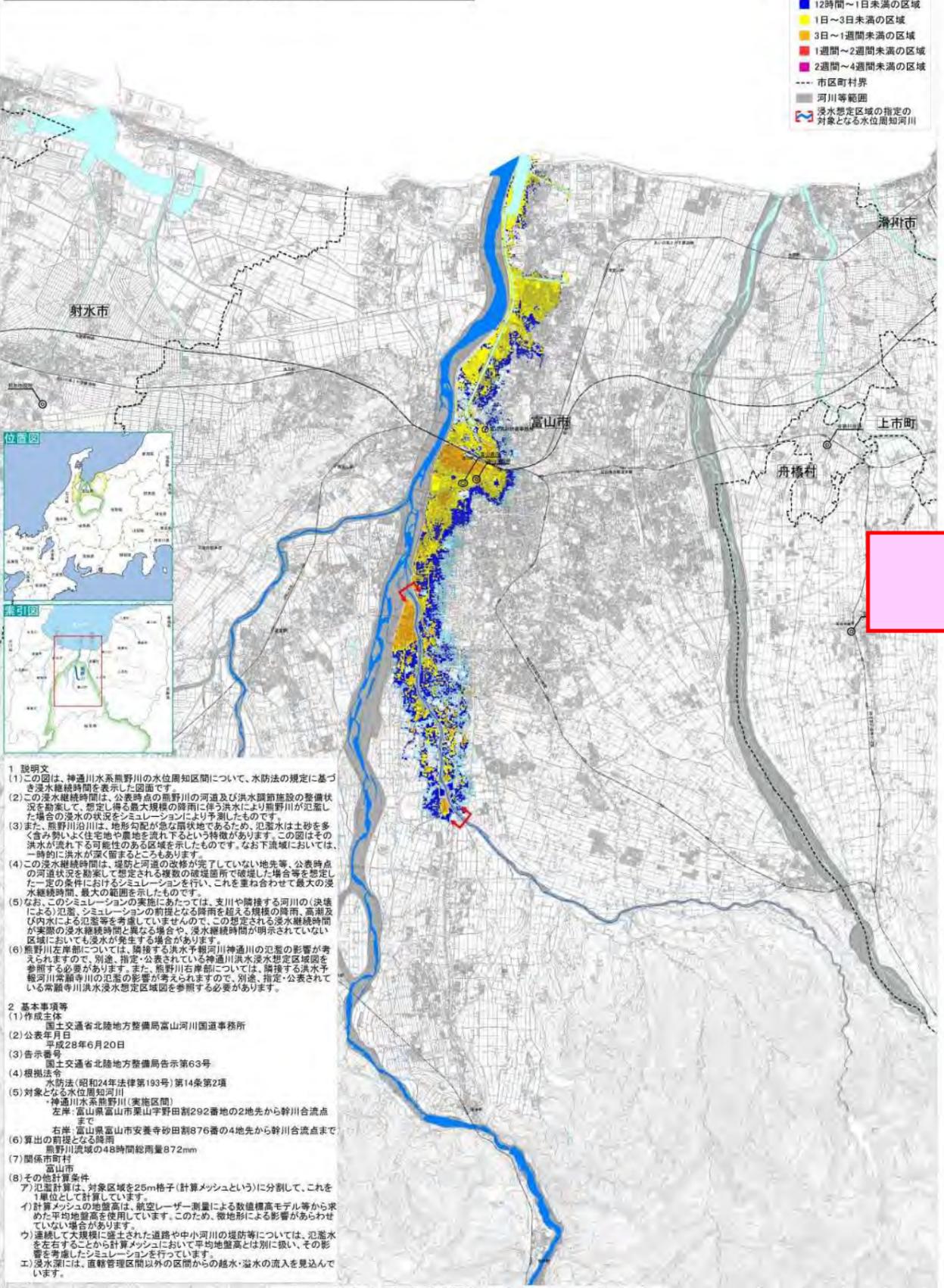
図-4 浸水継続時間図の修正前後比較図【井田川】

神通川水系熊野川洪水浸水想定区域図
(浸水継続時間)

神通川水系熊野川洪水浸水想定区域図
(浸水継続時間)

- 凡例
- 浸水継続時間(浸水深0.5m以上)
(ランク別)
 - 12時間未満の区域
 - 12時間～1日未満の区域
 - 1日～3日未満の区域
 - 3日～1週間未満の区域
 - 1週間～2週間未満の区域
 - 2週間～4週間未満の区域
 - 市区町村界
 - 河川等範囲
 - 浸水想定区域の指定の
対象となる水位周知河川

- 凡例
- 浸水継続時間(浸水深0.5m以上)
(ランク別)
 - 12時間未満の区域
 - 12時間～1日未満の区域
 - 1日～3日未満の区域
 - 3日～1週間未満の区域
 - 1週間～2週間未満の区域
 - 2週間～4週間未満の区域
 - 市区町村界
 - 河川等範囲
 - 浸水想定区域の指定の
対象となる水位周知河川



1 説明文
 (1)この図は、神通川水系熊野川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2)この浸水継続時間は、公表時点の熊野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により熊野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)また、熊野川沿川は、地形勾配が急な扇状地であるため、氾濫水は土砂を多く含む勢いよく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が深く留まることもあります。
 (4)この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所を想定した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
 (5)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
 (6)熊野川左岸部については、隣接する洪水予報河川神通川の氾濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表されている神通川洪水浸水想定区域図を参照する必要があります。また、熊野川右岸部については、隣接する洪水予報河川常盤寺川の氾濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表されている常盤寺川洪水浸水想定区域図を参照する必要があります。

2 基本事項等
 (1)作成主体
 国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
 (2)公表年月日
 平成28年6月20日
 (3)告示番号
 国土交通省北陸地方整備局告示第63号
 (4)根拠法令
 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 (5)対象となる水位周知河川
 ・神通川水系熊野川(実施区間)
 左岸:富山県富山市栗山字野田割292番地の2地先から幹川合流点まで
 右岸:富山県富山市安養寺砂田割876番の4地先から幹川合流点まで
 (6)算出の前提となる降雨
 熊野川流域の48時間総雨量872mm
 (7)関係市町村
 富山市
 (8)その他計算条件
 ア)氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。
 イ)計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
 ウ)連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
 エ)浸水深には、直轄管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。

1 説明文
 (1)この図は、神通川水系熊野川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2)この浸水継続時間は、公表時点の熊野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により熊野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)また、熊野川沿川は、地形勾配が急な扇状地であるため、氾濫水は土砂を多く含む勢いよく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が深く留まることもあります。
 (4)この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所を想定した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
 (5)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
 (6)熊野川左岸部については、隣接する洪水予報河川神通川の氾濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表されている神通川洪水浸水想定区域図を参照する必要があります。また、熊野川右岸部については、隣接する洪水予報河川常盤寺川の氾濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表されている常盤寺川洪水浸水想定区域図を参照する必要があります。

2 基本事項等
 (1)作成主体
 国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
 (2)公表年月日
 平成28年6月20日
 (3)告示番号
 国土交通省北陸地方整備局告示第63号
 (4)根拠法令
 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 (5)対象となる水位周知河川
 ・神通川水系熊野川(実施区間)
 左岸:富山県富山市栗山字野田割292番地の2地先から幹川合流点まで
 右岸:富山県富山市安養寺砂田割876番の4地先から幹川合流点まで
 (6)算出の前提となる降雨
 熊野川流域の48時間総雨量872mm
 (7)関係市町村
 富山市
 (8)その他計算条件
 ア)氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。
 イ)計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
 ウ)連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
 エ)浸水深には、直轄管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。

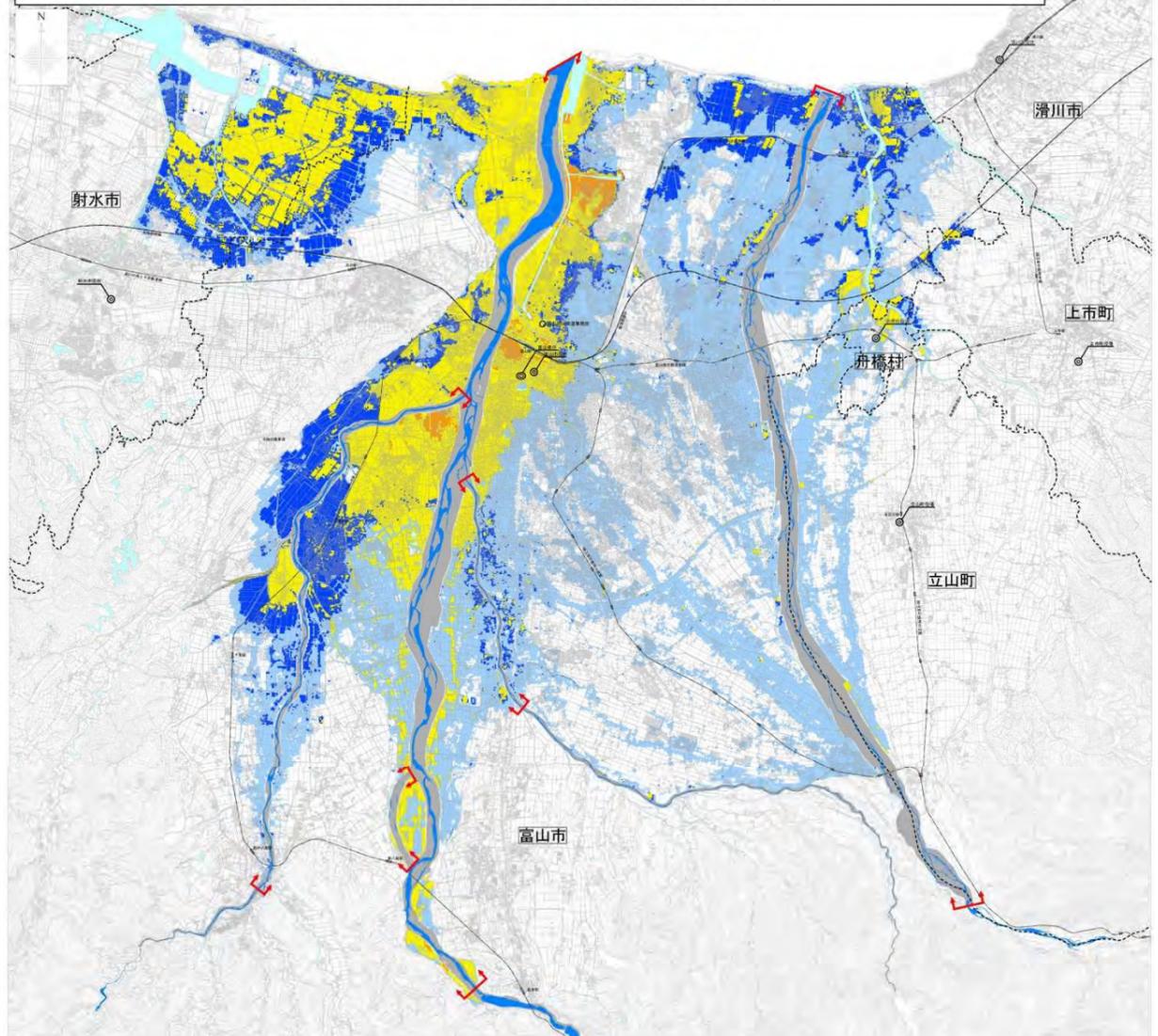
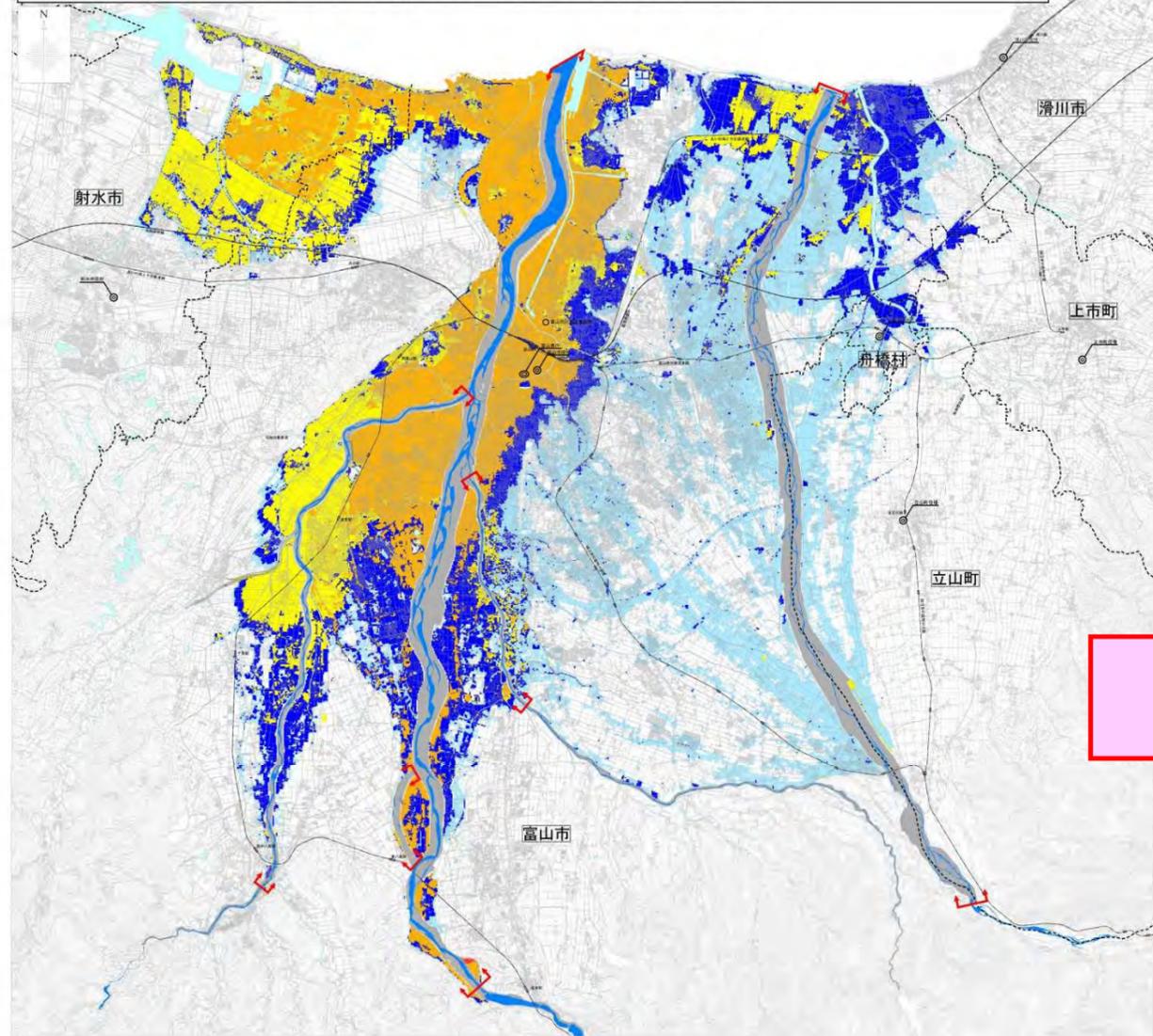
図-5 浸水継続時間図の修正前後比較図【熊野川】

修正前（既公表）浸水継続時間図

修正後（今回公表）浸水継続時間図

常願寺川水系常願寺川、神通川水系神通川・西派川・井田川・熊野川
洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）

常願寺川水系常願寺川、神通川水系神通川・西派川・井田川・熊野川
洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



1 説明文
 (1) この図は、常願寺川水系常願寺川、神通川水系神通川、神通川水系西派川（神通川からの分派点から神通川への合流点まで）の洪水予報区間及び神通川水系井田川、神通川水系熊野川の水位周知河川について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2) この浸水継続時間は、公表時点の常願寺川の河道の整備状況及び神通川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定される最大規模の降雨に伴う洪水により想定した場合の浸水の状況シミュレーションにより予測したものです。
 (3) また、常願寺川、神通川、西派川、井田川、熊野川の沿川は、地形勾配が急な傾斜地であるため、氾濫水は土砂を多く含む勢いよく住宅地や農地を流れるという特徴があります。この図はその洪水が流れる可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が深く留まることもあります。
 (4) この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所等で破壊した場合等を想定して一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
 (5) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前堤となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等
 (1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
 (2) 公表年月日 平成28年6月20日
 (3) 告示番号 国土交通省北陸地方整備局告示第62号
 (4) 根拠法令 国土交通省北陸地方整備局告示第63号
 (5) 対象となる洪水予報河川及び水位周知河川 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 ・常願寺川水系常願寺川（実施区間）
 富山県富山市岡田字岩谷割9番の2地先の横江えん堤から海まで
 神通川水系神通川（実施区間）
 左岸：富山県富山市長川原字浦島8番の1地先から海まで
 右岸：富山県富山市長走字開割138番地先から海まで
 神通川水系西派川（実施区間）
 神通川からの分派点から神通川への合流点まで
 神通川水系井田川（実施区間）
 左岸：富山県富山市八尾町福島字川原40番地から幹川合流点まで
 右岸：富山県富山市八尾町字十三石尻43番の3地先から幹川合流点まで
 神通川水系熊野川（実施区間）
 左岸：富山県富山市長山字野田割292番地の2地先から幹川合流点まで
 右岸：富山県富山市安養寺砂田割876番の4地先から幹川合流点まで
 (6) 算出の前堤となる降雨
 常願寺川流域の48時間総雨量776mm
 神通川流域の48時間総雨量537mm
 井田川流域の48時間総雨量753mm
 熊野川流域の48時間総雨量972mm
 富山市、立山町、舟橋村、滑川市、上市町、射水市

(7) 関係市町村
 (8) その他計算条件
 ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。
 イ) 計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわれない場合があります。
 ウ) 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
 エ) 浸水深には、直轄管理区域以外の区域からの越水・溢水の流入を見込んでいます。



1 説明文
 (1) この図は、常願寺川水系常願寺川、神通川水系神通川、神通川水系西派川（神通川からの分派点から神通川への合流点まで）の洪水予報区間及び神通川水系井田川、神通川水系熊野川の水位周知河川について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2) この浸水継続時間は、公表時点の常願寺川の河道の整備状況及び神通川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定される最大規模の降雨に伴う洪水により想定した場合の浸水の状況シミュレーションにより予測したものです。
 (3) また、常願寺川、神通川、西派川、井田川、熊野川の沿川は、地形勾配が急な傾斜地であるため、氾濫水は土砂を多く含む勢いよく住宅地や農地を流れるという特徴があります。この図はその洪水が流れる可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が深く留まることもあります。
 (4) この浸水継続時間は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所等で破壊した場合等を想定して一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の浸水継続時間、最大の範囲を示したものです。
 (5) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前堤となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本事項等
 (1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所
 (2) 公表年月日 平成28年6月20日
 (3) 告示番号 国土交通省北陸地方整備局告示第63号
 (4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 (5) 対象となる洪水予報河川及び水位周知河川 常願寺川水系常願寺川（実施区間）
 富山県富山市岡田字岩谷割9番の2地先の横江えん堤から海まで
 神通川水系神通川（実施区間）
 左岸：富山県富山市長川原字浦島8番の1地先から海まで
 右岸：富山県富山市長走字開割138番地先から海まで
 神通川水系西派川（実施区間）
 神通川からの分派点から神通川への合流点まで
 神通川水系井田川（実施区間）
 左岸：富山県富山市八尾町福島字川原40番地から幹川合流点まで
 右岸：富山県富山市八尾町字十三石尻43番の3地先から幹川合流点まで
 神通川水系熊野川（実施区間）
 左岸：富山県富山市長山字野田割292番地の2地先から幹川合流点まで
 右岸：富山県富山市安養寺砂田割876番の4地先から幹川合流点まで
 常願寺川流域の48時間総雨量776mm
 神通川流域の48時間総雨量537mm
 井田川流域の48時間総雨量753mm
 熊野川流域の48時間総雨量972mm
 富山市、立山町、舟橋村、滑川市、上市町、射水市

(7) 関係市町村
 (8) その他計算条件
 ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。
 イ) 計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわれない場合があります。
 ウ) 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
 エ) 浸水深には、直轄管理区域以外の区域からの越水・溢水の流入を見込んでいます。



国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所

国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所

図-6 浸水継続時間図の修正前後比較図【常願寺川水系・神通川水系包絡】